

## 視野障害で発症した Posterior Cortical Atrophy の一例

### Visual Field Defects in a Case of Posterior Cortical Atrophy

林 竜一郎<sup>1)</sup>, 山口 滋紀<sup>1)</sup>, 成松 俊雄<sup>2)</sup>, 宮田 博<sup>2)</sup>

**要旨** : 60歳時に検診にて左同名半盲を指摘され、眼科通院中に種々の高次脳機能障害を発症し、Posterior Cortical Atrophy (PCA) と診断された症例を報告した。本例の視野障害には静的視野検査でのみ検出されるという特徴 (静的動的視野解離あるいはRiddoch現象) がみられた。本例での左空間無視は軽度で、そのみでは5年間持続するRiddoch現象を説明できず、同現象はPCAを特徴付ける初期徴候の可能性がある。

**Key Words** : posterior cortical atrophy, Riddoch現象, 静的動的視野解離

1988年にBensonらは、頭頂後頭葉主体の萎縮と、それに合致する進行性の高次脳機能障害をきたしながらも記憶・内省・判断が後期まで保たれた5症例を、Posterior Cortical Atrophy (PCA) として記載した (Bensonら, 1988)。その後の病理学的検討では、アルツハイマー型認知症が原因であることが多いとされる (Tang-Waiら, 2004)。臨床的には (部分的な症候を含む) Bálint症候群やGerstmann症候群が多いが、視野障害も多くみられ、初発症状となることもある。われわれは2年毎の緑内障検診にて左同名半盲を指摘され、その5年後に認知機能障害が顕在化し、Tang-Waiらの診断基準からPCAと診断した症例を経験した (Tang-Waiら, 2004)。初診時60歳の女性で、特記すべき既往歴や家族歴はなく、神経学的検査や脳MRI検査では異常はみられなかった。眼科検査では近視以外に明らかな眼底・眼圧異常はなく、静的視野検査では左同名半盲がみられたが、動的視野検査では異常を認めなかった。この静的・動的視野解離 (Stato-kinetic dissociation : SKD, あるいはRiddoch現象) は初診から5年後にも観察されたが、このときには視野検査での応答は不確実で、神経心理学的検査にて種々の異常が明らかとなった。日常生活活動では異常を認めないが、物忘れが目立ち、MMSEは12/30点、Addenbrook Cognitive Examination (Revised) は28/100点だった。

検査上、記憶や見当識の障害が目立ったが、明らかな失語や失行はなく、幻視もみられなかった。VPTAは数回に分けて施行され (図1)、自覚はないが視知覚基本機能に障害があり、形の弁別が特に困難で、「見る角度によって違って見える」と訴えた。絵の呼称・分類、実物品呼称いずれも不良で、実物品の方がやや呼称しやすく、一部は呼称できなくても使用法をジェスチャーで示すことができた。相貌・色彩については全般に中等度程度の障害あり、文字認知にも軽度～中等度の障害がみられた。線分二等分や模写から、軽度の左無視が疑われた。脳MRIでは全般性の萎縮に加えて右後頭頭頂葉、側頭葉に強い萎縮を認め、脳SPECTでは同部位の血流低下を認めた (図2)。本例の左同名半盲は右大脳半球後部の萎縮による症状と考えられたが、Riddoch現象をともしう点が特徴であった。同現象は2015年にWanらや小宮山らによりPCAの症候のひとつとして報告されている (Wanら, 2015 ; 小宮山ら, 2015) が、無視の影響を指摘するRyanらの報告もある (Ryanら, 2000)。本例での無視は軽度で、そのみでは5年間のRiddoch現象を説明できないと思われ、同現象はPCAを特徴付ける初期徴候の可能性もある。眼科的・内科的に説明できない視野障害の例では、PCAの初期徴候を疑い、静的・動的双方の視野検査と、無視検査 (線分二等分と抹消課題)

【受理日 2017年6月13日】

1) 横浜市立市民病院神経内科 Ryuichiro Hayashi, Shigeki Yamaguchi, : Yokohama Municipal Citizen's Hospital, Department of Neurology

2) 横浜市立市民病院眼科 Toshio Narimatsu, Hiroshi Miyata : Yokohama Municipal Citizen's Hospital, Department of Ophthalmology

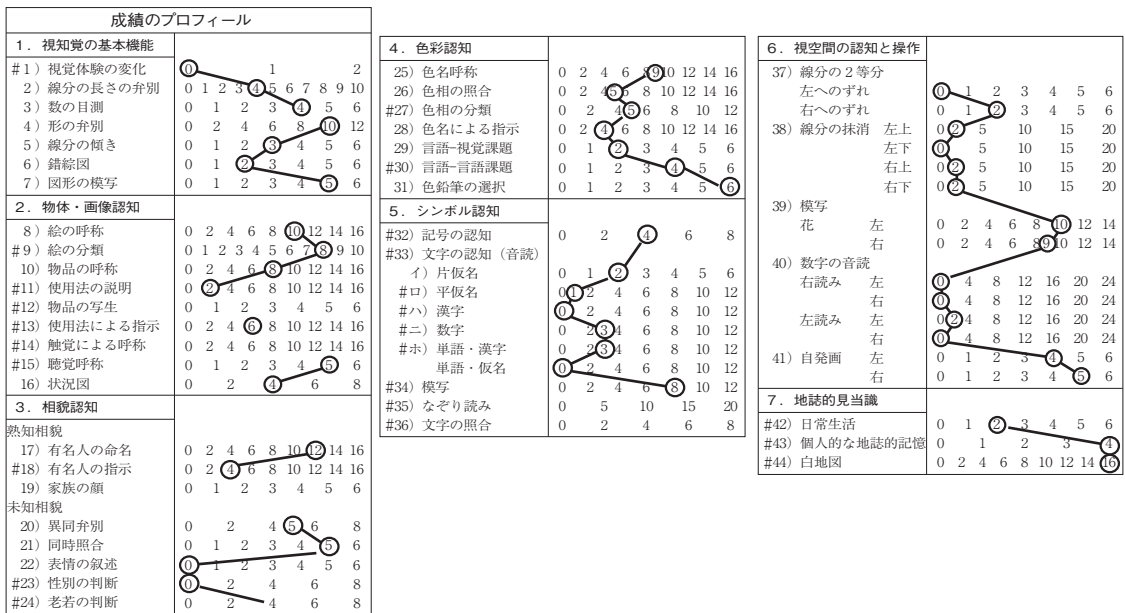


図1 標準高次視知覚検査 (VPTA)

視知覚基本機能・線画や物品の認知に障害があり, 中等度の相貌・色彩認知の障害, 軽度の左無視が疑われた。

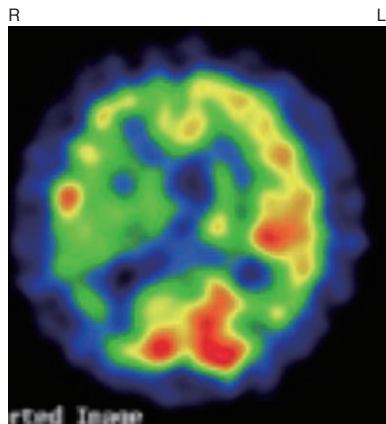


図2 脳SPECT水平断面画像  
右後頭頭頂葉・側頭葉の血流低下を認めた。

文 献

- 1) Benson, D.F., Davis, R.J., Snyder, B.D. : Posterior cortical atrophy. Arch Neurol, 45 : 789-793, 1988.
- 2) 小宮山純, 小林 円, 波呂栄子 : 見えづらさを主訴とする若年性認知症 後部皮質萎縮症の1例. 眼科, 57 (13) : 1711-1719, 2015.
- 3) Ryan, J.M., Duffy, C.J., Tariot, P.N. : Hemi-inattention presenting as homonymous hemianopia in early dementia. J Neuropsychiatry Clin Neurosci, 12 : 413-414, 2000.
- 4) Tang-Wai, D.F., Graff-Radford, N.R., Boeve, B.F., et al. : Clinical, genetic, and neuropathologic characteristics of posterior cortical atrophy. Neurology, 63 : 1168-1174, 2004.
- 5) Wan, S.L., Bukowska, D.M., Ford, S., et al. : Posterior Cortical Atrophy Presenting with Superior Arcuate Field Defect. Case Rep Ophthalmol Med, 2015. doi : 10.1155/2015/796381

を含む視覚認知検査の施行が必要と思われる。